

令和2年5月29日

生徒・保護者各位

豊橋中央高等学校  
校長 高倉嘉男

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のための 警戒レベル設定について

拝啓 初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校の教育活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休校措置を取っておりましたが、愛知県内および東三河地域において新規感染者が出なくなったことを受け、5月21日より学校を再開し、5月25日より授業を再開しました。当面は、学校内において感染源と感染経路を絶ち、生徒の抵抗力を高めることを第一に、細心の注意を払いながら学校を運営して行きます。

それに伴い、今後、万一、新型コロナウイルスの感染拡大が再発した場合の学校の対応を明確にするために、警戒レベルの設定を行います（現在は「警戒レベル1」とします）。政府からの要請と科学的データに基づきながら、ご子女の安全と教育を受ける権利の保護のバランスを取って行きます。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

敬具

記

### 警戒レベル0

新型コロナウイルス感染の恐れがなくなった状態。新型コロナウイルス感染拡大以前の生活。

### 警戒レベル1 ◀現在

新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置が行われている状態。厚生労働省の提唱する「新しい生活様式」を参考にし、学校内でも以下の措置を取る。

- ・毎朝、登校前に検温をし、風邪の症状がある場合は登校を控えて自宅で療養する。
- ・登下校時や在校時はマスクを付け、密集、密接、密閉を避ける。
- ・登校後、教室に入る前に手指を消毒し、授業の合間や空き時間に積極的に手洗いをする。
- ・人との間隔を空け、会話や食事のときは相手の真正面を避ける。
- ・こまめに換気をする。
- ・教員も毎朝、通勤前に検温をし、風邪の症状がある場合は自宅で療養する。
- ・教員はマスクを付けて授業をする。
- ・部活動・補習は、上記のことに注意しながら、通常通り行う。

## 警戒レベル2

新型コロナウイルス感染者が豊橋または近隣地域で再度発生した状態。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提唱する「①特定（警戒）都道府県」「②感染拡大注意都道府県」「③感染観察都道府県」を想定。学校を継続するが、細心の注意を払う。

- ・時差登校を含め、登校時間を柔軟化する。
- ・通学経路に感染の不安がある場合は、無理に登校しない。
- ・毎朝、校舎に入る前に全生徒の検温を行い、高温の場合は校舎内への入場を認めない。
- ・食堂の営業はテイクアウトのみとする。
- ・学年集会など、多人数が一箇所に集まる行事は行わない。
- ・部活動・補習については制限をする。

## 警戒レベル3

新型コロナウイルス感染者が東三河地域で爆発的に増加した状態、または教職員・生徒に感染者が発生した状態、または国や自治体から休校要請が出た場合。学校を休校とする。

- ・一定期間、学校を休校とし、休校が長期化する場合はオンライン授業に切り替える。
- ・連絡は学校ホームページ、Classi、緊急連絡メール等を活用する。
- ・適宜、出校日を設け、生徒の健康状態や学習状況を確認する。

以上

### 参考

文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」抜粋・再構成  
「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域区分	判断基準	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動（自由意志の活動）
①特定（警戒）都道府県	累積患者数、感染経路が不明な感染者数の割合、直近1週間の倍加時間などで判断。	できるだけ2m程度（最低1m）	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間での活動に限定
②感染拡大注意都道府県	特定（警戒）都道府県の指定基準等を踏まえつつ、その半分程度などの新規報告者数等で判断。	できるだけ2m程度（最低1m）	リスクの低い活動から徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
③感染観察都道府県	新規感染者数が一定程度確認されるものの、②の基準には達していない。	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	十分な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施